

旅と学びの協議会 51の団体・4名の個人会員と新たに第4期活動を開始 ～五感をフルに働かせ「楽しく学ぶ」旅の実証に挑戦～

「旅と学びの協議会」の第4期会員として企業などの法人、教育機関、自治体等の団体に加えて、今期から新たに個人会員(研究員)の参加が決定し活動を開始しました。



本協議会は、ANA 事務局(ANA ホールディングス株式会社)と理事会、参加団体(法人、教育機関、自治体等)、個人会員で構成されています。今期は21企業、30団体の計51団体、個人研究員4名などで活動を行います。

プロジェクト企画、研究部と広報部の活動により、旅の効用を科学的に検証し、旅による「学び」の新しいプログラム開発や次世代教育の一環として活用、提言することを目指しています。

◆第4期会員: 法人(21)/ 学校教育機関(16)/ 自治体等(14)/ 個人研究員(4)等

※2023年6月30日時点



◆協議会運営体制:

役割	内容
<p>企画</p>  <p>旅の価値創出と 学びの検証を目指し プロジェクト企画・実施</p>	<p>地域の魅力を発信しよう!</p>    <p>・地域や学校と連携した教育プログラム開発、 リカレント教育の開発等</p>
<p>研究</p>  <p>旅と学び・幸せの 繋がりをデータで検証</p>	<p>  等</p> <p>丸善雄松堂株式会社</p> <p>・旅の学びの仮説検討、測定、データ集積と分析 ・論文、研究ノート、レポートの執筆 ・旅に出かけたいくなる?! アプリ開発 等</p>
<p>広報</p>  <p>協議会のイベント企画 活動に関する情報発信</p>	<p> </p> <p>・オンライン勉強会、会員同士の交流会などイベント企画 ・プレスリリース、SNSを用いた情報発信 ・新たな旅の価値を探る一般公開向けイベント企画</p>

※旅と学びの協議会とは:

本協議会は、ANAHD が 4 名の有識者(立命館アジア太平洋大学(APU)学長 出口治明氏、東京学芸大学大学院准教授、スタディサプリ教育 AI 研究所所長 小宮山利恵子氏、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 前野隆司氏、駒沢女子大学観光文化学類教授 鮫島卓氏)を迎え、2020 年 6 月に設立しました。教育工学・幸福学・観光学の視点から、旅の効用を科学的に検証し、旅を学校および社会人教育の次世代手法としての有効活用を提言することを目的としています。

◆2023 年度活動予定プロジェクト 6月時点(五十音順)

プロジェクト名	対象者	内容	メンバー
アカデミック・ツーリズム	初学者	研究者や専門家のアカデミックな話を聞くことで、初めてその場所を訪れる参加者(初学者)の好奇心や学びに影響があるかを検証する。アカデミックでディープなツアーのプログラム開発、コンテンツを造成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社ビーコンつしま ・丸善雄松堂株式会社 ・ANA ホールディングス株式会社 ・西オーストラリア州政府観光局
いばらきで旅と学びを科学する! 探求学習における子どもの学びと体験のアップデート	教育旅行 行事担当者、自治体関係者、旅と学びの協議会会員	茨城県にて8月24日と25日に教育サミットを開催する。1日目は、教育界のトレンドセッターから学ぶセミナー、2日目は1次産業と先端科学に触れて学校行事を創造するフィールドワークを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アーストラベル水戸株式会社
異文化交流/旅からの“学び”の効果検証	学生	旅、もしくは異文化に触れることにより、高校生、中学生がどのように成長をしていくのかを検証する。各学校の既存の活動をベースに、APU 留学生との交流機会を設け、成長機会と効果検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社電通 ・立命館アジア太平洋大学 ・かえつ有明高等学校 ・鎌倉学園 ・都立東久留米総合高校
音旅	—	「音」のメディアとして、音の力を様々な形で活用している。旅することにおいて、「音」だけのコンテンツを聴いた人は、映像を見た人	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社エフエム東京

		よりもアクションにつながる行動が多くみられるのではないかということの検証を行う。	
関係人口創出(ワーケーション)	社会人	ワーケーションによる地域住民や企業との交流、地域課題解決によるビジネスマッチングなどのローカルベンチャー支援やサテライトオフィス誘致などの地域振興を目指す。	・北海道富良野市
国内旅行と海外旅行における自己効力感形成の比較研究	大学生	駒沢女子大学の沖縄・韓国での研修旅行における参加学生を被験者として、国内旅行と海外旅行における観光者の自己効力感形成の定量分析とその発生要因について比較検証する	・駒沢女子大学 ・ANA ホールディングス株式会社
サイクリング×人のつながり×学びの相関性をもたらす地域が潤うサイクルツーリズムの効果検証	中学生から大人まで	サイクリストの中の、エントリー層・ビギナー層・ミドル層に対して、サイクリング×人のつながり×学びの相関性について調査する。同時に、サイクリストの消費購買行動を引き出す手法についても実証実験を行い調査する。地域ガイドを活用したサイクリングによって、地域との繋がりを育み、サイクリストの学びや消費購買行動の促進に繋げることを通して、地域とサイクリスト双方が共存・共栄出来る、新たなサイクルツーリズムの有効性について検証する。	・信州大学研究員 海野氏 ・ANA ホールディングス株式会社
～全国各地にオモロイ人が集うことを当たり前～「旅するスナック」	地域に根ざして活動をされている方、企業内新規事業担当、スタートアップ、学校教育機関	① 地域内と地域外の人が出会うスナックの開催(首都圏、全国各地) ② 地域の魅力的な資源、文化を体験するプログラムの企画 ③ マッチングによるイノベーション創出	・MoveHearts 株式会社
スポーツ、旅、教育から探る新しい地方創生モデルの考察プロジェクト	就学層、就労層	就学層や就労層の部活動、クラブ活動、その他各種活動における遠征や合宿、旅行等に、「心身活動」と「地域資源」*1を掛け合わせた新しいプログラムを付加することで生じる教育的・社会的効果*2について検証する *1 人的資本、人工資本、人口資本、自然及び社会関係資本 *2 教育的効果:ひとの「成長」、社会的効果:まちの「成長」に寄与する人と人の「関係性」の醸成、及び各人の当該地域や地元への「郷土意識」の変革 ;旅が学びを、学びが次の新しい旅を産み出すと考える	・株式会社 Waisports ジャパン ・株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント ・北海道北広島市 ・茨城県常総市 ・茨城県牛久市 ・岩手県紫波町
地域の魅力を映像にしよう！撮り旅	学生	学生たちと旅をしてその地域の魅力を撮影・編集し、観光 PR 動画としてアウトプットする。 完成した動画は地域活性化のために学生自身や自治体等から発信する。AOI Pro.は映像制作のノウハウを提供し全ての行程をサポートする。	・株式会社 AOI Pro. ・松山大学 ・昭和女子大学 ・長野県駒ヶ根市 ・聖学院中学校・高等学校
旅がもたらす学びの効用体系化	協議会会員	協議会メンバーの協力者に対して「学びがあった旅」と「学びがなかった旅」を1人ずつヒアリングし、学びの効用とその学びに影響	・株式会社シンカ

		<p>を与えた因子を洗い出す。完成した学びの効用に関する項目が適切なものか確認するため、測定を行い、有効性を確認する。継続的に学びの効用やその影響を与える因子について、肉付け・改善を図る</p>	
<p>能登ローカルシフト アカデミー</p>	<p>学生～社会 人</p>	<p>関係人口創出と移住起業に向けた講座(ローカルシフトアカデミー)を能登町で実施する。定員 20 名で首都圏など都市部の地方に興味がある社会人を対象(能登町の事業者数名参加)に受講生を集める。ワーケーション利用も合わせて検証する。</p>	<p>・一般社団法人シラタマワーク ・石川県能登町</p>

以上

問い合わせ先:ANA ホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111